

# 石巻専修大学

「石巻専修大学」ホームページ <http://www.isenshu-u.ac.jp>

代表電話番号  
**0225  
(22)7711**  
広報専用FAX  
**0225  
(22)7809**

## 石鳳祭2013 にぎわう

10月12、13の両日、「石

鳳祭2013」(小室遼

介実行委員長＝理工3・

宮城県古川学園高)が本

学キャンパスで開催され

た。今年度は「慕進」を

メインテーマに、さまざ

まな企画や研究成果の発

表・展示が行われた。キ

ャンパスには多くの学

生、卒業生、地域の方々

らが来場し、大いにぎ

わった。

【メインステージ】

12日は開会を告げる祝

砲の後、「中昼祭」「フ

リライブ」を開催。翌

13日には「ミスター石鳳

コンテスト」＝写真③

④、「キッズチア&ヒッ

プホップ」「後夜祭」な

【屋外】

学生団体などの模擬店

が建ち並び＝写真⑤⑥、

来場者をもてなしたほ

か、地場産品フェアやフ

リーマーケットも催され

た。

【教室・森口記念館・体

育館】

2、4号館の教室では

企画展示が行われ、ゼミ

や研究室、サークルが研

究の成果を発表した。森

口記念館では現代芸術研

究会と合唱部のライブ

が、体育館ではシンガー

ソングライターのダイス

め、会場を盛り上げた。

ケさんによるライブが開  
催された。

◇

今年は芸能プロダクシ

ョンのワタナベエンター

テインメントが自社で取

り組んでいる「東日本大

震災WAEチャリティー

プロジェクト「5輪へ」

今こそ団結！」の一環

として企画などに全面協

力。多くのタレントが駆

け付け「お笑いライブ」

(13日)を催したほか、

「ミスター石鳳コンテス

ト」ではお笑いコンビの

ロビンソンズが司会を務

め、会場を盛り上げた。

## 昨年に続き1、3位独占

学自研整備  
コンテスト

10月19日に開催された

「学生自動車研究会整備

コンテスト」(主催＝公

益社団法人自動車技術会

東北支部学生自動車研究

会)に理工学部機械工学

科の自動車工学コースの

4年次生が出場し、昨年

に続いて1位から3位ま

でを独占する好成績を取

めた。

入賞したのは次の3組

(敬称略)。

▽1位＝伊深大祐(宮城

県東北工業大学高)／佐

藤俊樹(宮城県東北工業

大学高)組▽2位＝檜崎

拓海(宮城県仙台育英学

園高)／歸山祐史(青

森県八戸工業高)組▽3

位＝瀬戸悠矢(宮城県松

島高)／奥津勝太(宮城

県石巻西高)組

同コンテストは2人一

組で参加し、灯火装置の

点検やシミュレーターに

よる安全運転診断、学科

テストなどを通して、自動

車に対する技術や知識を

競う。本学からは11組(22

人)がエントリーし、井

深・佐藤組は総合73点

いきました」と話した。

(100点満点)で、栄

誉を勝ち取った。

伊深さんは「佐藤君と

協力してそれぞれの得意

分野を生かし、これま

で学んだ知識や技術を

発揮できたと思います。

この結果を励みにして、

これから勉強を重ねて

いきます」と話した。

スポーツ大会で  
親睦を深める

理工学部

毎年恒例の「理工学部

スポーツ大会」が10月10

日、本学の全天候型陸上

競技場で開催された＝写

真。同学部の教員と全学

生が参加し、学年、学科

を超えて親睦を深めた。

今年度はリレーとサッ

カーの2種目で熱戦が展

開され、リレーは生物科

学科が、サッカーは機械

工学科が優勝。リレーで

も健闘した機械工学科が

総合優勝を果たし、島田

了八教授から代表の内海

貴博さん(宮城県多賀城

高)にトロフィーと賞品

が手渡された。



▲ 入賞した3組(前列)を中心に、健闘した出場者たち



坂田学長も参加

ツール・ド・東北

11月3日、「ツール・

ド・東北2013 in

宮城・三陸」(河北新報

社、ヤフー主催)が開催

された＝写真。これは本

学をスタート、ゴール地

点とし、自転車で石巻市

と南三陸町間を往復する

コース中、グランフォン

ド(160m)を規定時間

内で走破する上級コー

ース)を走走した草

野浩太さん(理工3

・福島県相馬高)は

「上り、下りが激し

い長い道のりでした

が、美しい景色や沿

道の声援に励まされ

て完走できました。

最高の1日になりました

と感想を話した。



屋外では「東北発

★未来食堂」究極の

炊き出しをつくろ

う」のブースに、経

営学部・石原ゼミ

(石原慎士教授指導)

が「サバだしラーメ

ン」を出店。行列が

できるほどの好評を

得ていた。

また、いしのまきワ

ンセツが公開収録番組の1

つ「ミチコ靖子嬢の女子

会」の出演者をゲストに

迎えた特別番組を放送し

たほか、3Dプリンタで

制作された石巻市沿岸部

の復元立体模型も展

示された。

## 慕進

テーマに



## 旧交温める ホームカミングデー



「ホームカミングデー2013」が10月12日に開催された。多くの卒業生が母校を訪れ、恩師や同窓生と再会し、旧交を温めた＝写真。

学生ホールで行われた懇親パーティーでは、坂田隆学長、甘竹秀雄専修大学校友会会長があいさつを述べ、卒業生たちの再訪を歓迎。伊東孝浩石巻専修大学同窓会長の発声で乾杯し、開宴した。開学25年目の今年は、1期生が卒業20年を迎える節目の年ということもあり、当時の教員も多数出席。卒業生たちは思い出話に花を咲かせていた。

## 学生ができること、すべきこと

### 震災復興を考えるフォーラム



本学の共創研究センターが主催する「東日本大震災を教訓に大学のバウを生かした震災復興を考えるフォーラム」が11月2日に開催された。学外の教員2人による基調講演と、学内外の学生による活動報告を通して、大学の持つパワーを生かした震災復興を考察した。

このフォーラムは文部

岡大学、高知工科大学か



た。